

大型クラゲの出現状況

(平成 28 年 7 月 21 日現在)

国立研究開発法人水産研究・教育機構及び関係機関が実施した調査によると、東シナ海において多数の大型クラゲが確認されており、日本でも対馬沖のほか、若狭湾で例年より早い入網が確認されています。

- ・ 6 月下旬～7 月中旬にかけて、黄海、対馬海峡、長崎県において大型クラゲの出現が確認されており、7 月 16 日には福井県の定置網で 3 個体の入網が確認されたとのことです。
- ・ これらの情報によると、対馬海峡から日本海への大型クラゲの流入は、昨年と比べてかなり早く始まっている模様です。
- ・ 出現量についてはまだ不明ですが、本県沖へも例年より早く出現する可能性がありますので、今後の情報に注意してください。
- ・ 大型クラゲの目撃や入網がありましたら、水産振興センターまでお知らせください。

資料：国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページ
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

(一社) 漁業情報サービスセンターのホームページ
(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター
資源部 福田
電話 0185-27-3003
Fax 0185-27-3004